

広島大学短期交換留学 (HUSA) プログラム 派遣留学報告書

	記入日	平成 26 年 6 月 5 日		
所属学部・研究科	文学研究科	1 年次 (留学開始時点)		
留学先大学	ハワイ大学マノア校 (国名:アメリカ)			
所属学部・学科等名	Second Language Studies			
在籍身分	Exchange			
留学期間	平成 25 年 8 月 26 日 ~ 平成 26 年 5 月 17 日			
1. 渡航について				
ビザについて	ビザの種類: J-1			
	ビザ申請先: アメリカ大使館			
	取得方法, 提出書類: DS-2019, SEVIS, 大学受入れ許可証			
	手続きに要した日数: 1 日			
その他必要な事前手続き	住居申請、予防接種			
出国年月日	平成 25 年 8 月 15 日			
経路	福岡空港—仁川空港—ホノルル空港			
現地での出迎え	<input checked="" type="checkbox"/> 有 (大学関係者) <input type="checkbox"/> 無			
到着後オリエンテーションの実施状況・期間・内容	留学生全体オリエンテーション、ウェルカムパーティ、その他歓迎イベントあり。			
帰国年月日	平成 26 年 5 月 28 日			
経路	ホノルル空港—仁川空港—関西国際空港			
2. 留学経費について				
所要経費	総額		145 万円	
	内訳	渡航費		20 万円
		保険料		13 万円
		教科書代(学費)		2 万円
		宿舍費		60 万円
		食費		40 万円
		その他 (雑 費) (費) (費)		10 万円 円 円
3. 授業について				
2013 年秋学期	8 月 26 日	~	12 月 23 日	

2014 年春学期	1 月 13 日 ~ 5 月 16 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
年 学期	月 日 ~ 月 日
授業の概要について (カリキュラム, プログラム等)	週 2 回 (1 時間 15 分) または 3 回(50 分)の授業を 1 学期 4 か月間。
単位互換希望の有無	<input type="checkbox"/> 有 <input checked="" type="checkbox"/> 無 ※有の場合, 所属学部支援室へ提出の単位認定申請書類のコピーを添付すること
学術面に関する後輩へのアドバイス	発言やプレゼンなど、記録に残らない部分に対する評価の割合が高いため日本で練習しておくべきだと思います。
4. 生活等について	
(1) 留学先の住居について	
住居の種類	<input type="checkbox"/> 大学の寮 <input checked="" type="checkbox"/> アパート <input type="checkbox"/> ホームステイ <input type="checkbox"/> その他 ()
住居の広さ	約 20 m ² 同居人の有無 <input type="checkbox"/> 有 (人) <input checked="" type="checkbox"/> 無
住居に附属する設備	<input checked="" type="checkbox"/> 電気 <input checked="" type="checkbox"/> ガス <input checked="" type="checkbox"/> 水道 <input type="checkbox"/> 給湯 <input checked="" type="checkbox"/> シャワー <input type="checkbox"/> 風呂 <input checked="" type="checkbox"/> 水洗便所 <input type="checkbox"/> 暖房 <input type="checkbox"/> 冷房 <input checked="" type="checkbox"/> 台所 <input checked="" type="checkbox"/> 食堂 <input checked="" type="checkbox"/> 固定電話 <input checked="" type="checkbox"/> インターネット <input type="checkbox"/> その他 ()
住居費	1 ヶ月当たり 600 ドル (現地通貨) 約 6 万 円
住居を決定した方法	<input checked="" type="checkbox"/> 留学先大学の紹介 <input type="checkbox"/> 友人・知人の紹介 <input type="checkbox"/> 不動産業者 <input type="checkbox"/> その他 ()
留学先での住居全般に関するアドバイス	大学の寮にはミールプランに入る必要があるものもあるので注意が必要です。
(2) 医療について	
1 日以上入院を要する病気・怪我等を	<input type="checkbox"/> した <input checked="" type="checkbox"/> しなかった
入院した場合	により 日入院
留学に当たり保険を	<input checked="" type="checkbox"/> 掛けた <input type="checkbox"/> 掛けなかった
掛けた場合	<input checked="" type="checkbox"/> 日本 <input type="checkbox"/> 留学先国 <input type="checkbox"/> その他 ()
掛け金は	年間 13 万 円 補償額 死亡 5 億 円, 入院 1 日 円 その他 ()
留学前後での予防接種の必要の有無	<input checked="" type="checkbox"/> 有 <input type="checkbox"/> 無
有の場合, その種類, 回数, 費用, 受けた医療機関名	TB(ハワイ大学, 1 回)水疱瘡 (ハワイ大学, 1 回) おたふく(日本の民間診療所, 1 回)
日常的な健康について不安が	<input type="checkbox"/> あった <input checked="" type="checkbox"/> なかった あった場合その理由:
留学先国の医療事情 (日本と比較して)	医療費が非常に高い

留学先での健康管理, 衛生面について特に注意すべきこと	水、食品の管理	
(3) 危険を感じた地域, 状況		
特になし		
(4) その他生活等に関して参考となる事項		
特になし		
5. 帰国後の進路について		
卒業予定年月	平成 27 年 3 月 (当初の卒業予定年月 平成 27 年 3 月)	
卒業が遅れる見込みの場合, その理由	<input type="checkbox"/> 4 年次に留学したため <input type="checkbox"/> 単位不足のため <input type="checkbox"/> 新卒で卒業するため <input type="checkbox"/> その他 (具体的に)	
現在の状況および今後の予定・進路等	現在大学院 2 年目。卒業後教員として就職予定。	
就職活動や留学前の単位取得, 教育実習等についての工夫	教員免許取得後に留学するため、大学院入試と留学申請を同時に行った。	
6. 留学準備, 留学中に役立った書籍, ウェブサイト等		
書籍, サイト名	詳細 (出版社, URL 等)	コメント
7. 自由記述 (後輩へのアドバイス等)		



学習の概要に関するレポート

本レポートでは、私がハワイ大学 Second Language Studies 学部に所属し 2 学期間にわたる留学期間中に履修した授業それぞれについて、学習したことをまとめていく。

2013 年秋学期

1. **Second Language Teaching.** 第二言語の教授法について実践的な学習を行った。学期中に 2 回の模擬授業、教科書内容のプレゼンテーション 1 回、大学併設の語学学校での授業見学 1 回の他、言語教師として職を探すにあたっての Cover Letter や CV の書き方の学習、模擬面接を行った。学生の発表やレポートには教員が詳細なフィードバックを行い、学習に大きく貢献していた。
2. **Second Language Learning.** 第二言語の習得論について学習を行った。第一言語と第二言語の獲得に関する研究の歴史から最新の論文までを授業で読んでいき、ディスカッションやプレゼンテーションを行った。また、この授業は Writing-intensive course とされ、学期中 15 回のレポートとテストがあり、言語習得論に関する基本的な知識を身に着けるよう意図されていた。
3. **ELI Listening & Speaking.** ハワイ大学においてアカデミックな内容を英語で学習するために組まれているプログラムである。英語で話される内容をいかに聞き取り、発言していくかというテーマの授業で、プレゼンテーション 3 回、教授へのインタビュー 1 回、ディスカッションのリーダーを 1 回行った。
4. **English Phonology.** 英語音声学についての授業であった。単に英語の音声学を学ぶだけでなく、併設されている語学学校の生徒に対し計 8 回の英語の発音改善のためのチューターリングプログラムを行い、その成果について発表するというプロジェクトも行った。研究要旨の書き方や、自分の研究を発表する練習にもなった。
5. **Japanese Phonology & Morphology.** 日本語の音声学、形態学についての授業であった。日本語の母語話者にとっては気づきにくい音声学的な特徴や、形態素について体系的に学習できた。また、現在常識的に使われている音声表記の問題点などを論じ、より批判的に音声を観察していくきっかけとなった。

2014 年春学期

1. **Task-Based Language Teaching.** 第二言語教育の中でも近年広がりつつある、タスク中心の指導法について学習した。タスクを中心に第二言語教育の授業を作っていくメリット、方法や実際の実践報告を読んでプレゼンテーションを行った。最終課題として、自分のアイデアをまとめ授業を組み立てていった。
2. **Teaching Listening & Speaking.** 第二言語教育のリスニングとスピーキングの指導に関する授業であった。授業では実践報告やリスニングとスピーキングに関する研究論文を読みディスカッションを行う一方、個人的なプロジェクトとして日本人英語学習者に対する発音指導のカリキュラム作りにも取り組んだ。
3. **Language Revitalization.** 危機言語の再生の授業であった。授業中は第 1 言語習得論、第 2 言語習得論と危機言語再生の研究、実践報告についてディスカッションを行った。また、個人的なプロジェクトでは、危機言語として認定されている北海道におけるアイヌ語再生の実践を調べ、再生させる方法について探った。

以上が私の学習に関するレポートである。本来私は文学研究科で英語学を専攻しているが、将来英語教員になるため、ハワイ大学では言語教育に関する授業を多く履修した。アメリカ随一の教育の質を誇る Second Language Studies 学部に第二言語教育について深く学べたことに非常に感謝している。



生活の概要に関するレポート

本レポートでは、私がハワイに留学し実際に生活した経験から、文化、地理、余暇活動について報告する。

- **文化**

アメリカに編入されてから世界に誇る観光地として栄えるハワイは、私にとって「アメリカ」というイメージとは少し違う、多民族がお互い共存しあいながら生活する島だった。特に日本人の私にとって最も印象的であったのが、日本由来の苗字が非常に多いことである。彼らは日本からの移民の子孫である日系人であり、詳しい情報については **Hawaiian Studies** という授業や、オアフ島にあるビショップ博物館にて得ることができる。また、そのほか東南、東アジア出身者も数多く見かけた。そのため言語の交流がとても盛んであり、ショッピングモールに行けば日本語で話しかけられ、レストランに日本語のメニューが置いてあるところも少なくない。また、ハワイ文化も根強く存在しており、魚や豚肉を使ったハワイ料理やフラダンスなどはワイキキの繁華街で見かけることができる。しかし、物価が非常に高く生活費がかなりかかるため、注意が必要である。

- **地理**

ハワイ諸島はポリネシアに属し、火山でできた火山島からなっており、現在も最も新しい島「ハワイ島」での火山活動により面積は拡大している。州都はホノルルである。このハワイ島には富士山よりも高いマウナケアがあり、日本のすばる展望台もおかれ、天文学の研究も盛んである。気候は熱帯に属しており1年中海で泳ぐことができるが、湿度は低く日本と比べてカラッとしている。このような気候の中で育つ植物も特徴的であり、アメリカ本土から植物学の研究をしに来る学生も多い。太平洋の真ん中に位置するという土地柄から、古くから人種の交流が盛んであり、それによって必然的に文化、言語の交流も盛んであった。そのため、旅行残業、言語学の研究もハワイ大学において盛んに行われている。また、海洋生物にも多く会うことができ、イルカ、クジラ、サメ、マンタなどを見に行くツアーも行われている。

- **余暇活動**

私が行った余暇活動は主に登山とスノーケルであった。起伏が激しい土地のため、急勾配の山が多く存在し、レジャーやトレーニングとして登山ができた。また、山には滝があるものが多く、遠くから眺めたり、滝つぼに飛び込んだり、日々の生活のリフレッシュになった。また、スノーケルほどこの海に行っても多くの色鮮やかな魚を見つけることができ、時にはウミガメやエイに出会えた。しかし、スノーケルをする際は毒を持つ海の生物や危険なサメなどに注意し、法律で触れることを禁じられているウミガメやアザラシなどには決して触れないようにしなければならない。

